

一三〇〇怒りの総決起で、不当弾 圧粉碎！即時釈放をかちとれ

抗議 声 明

本日（一九八一年七月十五日）、午前五時を前後して、千葉県警、船橋署、千葉中央署は、不当にも動労千葉本部、津田沼支部および六名の組合員宅を、動労「本部」からの労働組合にあるまじき告訴・告発にもとづく「傷害、暴力行為」を名目に強制家宅捜査を行い、津田沼支部・片岡支部長以下六名の役員・活動家を不当逮捕した。

これは、革マル分子・嶋田誠をはじめとする動労「本部」権力密通分子と、国鉄当局からの事情聴取のみで、動労千葉側の当事者に対する何等の事前調査（任意出頭）もないまま強制家宅捜査——不当逮捕に出てきたことでも明らかのように、動労「本部」と警察権力一体となった動労千葉に対する労働組合ツブシを唯一の目的とした、極めて政治的かつ不当な弾圧であり、断じて容認することはできない。

われわれは、かかる暴挙を徹底的に糾弾し、嚴重抗議するとともに、動労千葉一三〇〇名組合員の総力を結集し、今夕の緊急抗議集会を皮切りに、七月十八日以降あらゆる戦術を行使し、断固たる抗議闘争を展開し、六名の即時釈放！不当弾圧粉碎をかちとる決意であり、今後生起するあらゆる事態の全責任が動労「本部」の告訴・告発に便乗した千葉県警、船橋署、千葉中央署の政治的弾圧にあることを明らかにする。

右、声明する。

一九八一年七月十五日

国鉄千葉動力車労働組合闘争委員会

動労「本部」反動分子のデッチあげ告訴による 6名の不当逮捕を徹底弾劾する

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！